

令和4年度 香川大学当初予算の概要

国立大学法人香川大学

1. 予算編成の基本的な考え方

令和4年度は、第4期中期目標・中期計画を推進するため、本学の基本的な目標である『近未来のあるべき社会の姿を見据え、「持続可能な地方分散型社会の実現に貢献する人材の育成と研究の推進」をそのビジョンに掲げ、直面する社会課題の解決に取り組むとともに、新たな価値と魅力を創造し、地域から世界に発信する』の実現に向け、第4期の初年度として、戦略的かつ効果的な予算編成を行うこととする。

特に、次の取組みについて重点的に推進する。

- ・イノベーションデザイン研究所内に創発科学研究拠点（産学共創リサーチ・ファーム）を組織し、大学院創発科学研究科と連携しながら、既存の学問分野を超え、画期的な知や解決策の導出に関わる創発科学的研究の推進
- ・教育・研究や運營業務のDX化に向けたデジタルONE戦略の推進
- ・イノベーションの創出などの取組みに向けたDRI教育の一層の推進
- ・社会人のための多様なリカレント教育・リスクリング教育の推進
- ・共創の拠点となる施設の整備や老朽化した施設の有効活用など戦略的な施設整備の推進
- ・「成果を中心とした実績状況に基づく配分」の評価を踏まえた取組みの一層の推進
- ・コスト意識の徹底や経費の見直しを積極的に行い、限られた財源を効果的に活用することにより教育研究及び地域貢献を積極的に推進

2. 予算規模と収支内訳

(1) 予算規模は前年度より約1,810百万円増加の38,347百万円

令和4年度予算

(単位：百万円, %)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
学部等	13,160	13,488	▲328	▲2.4
附属病院	25,187	23,049	2,138	9.3
合 計	38,347	36,537	1,810	5.0

令和3年度補正予算繰越分

区 分	内 容
学部等	・大学デジタルキャンパス推進拠点整備事業 ・デジタルキャンパスデザインセンター香川整備事業

(2) 収入内訳

運営費交付金は、退職手当の減等により 381 百万円の減少、補助金等収入は、香川県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（空床補償）の減等により 464 百万円の減少、附属病院収入は、病床稼働率の上昇等により 2,263 百万円の増加、目的積立金等繰入は、病院において 358 百万円の増加等

(単位：百万円, %)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	令和4年度収入割合
運営費交付金	10,236	10,617	▲381	▲3.6	26.7
学生納付金収入	3,880	3,860	20	0.5	10.1
補助金等収入	517	981	▲464	▲47.3	1.3
附属病院収入	23,000	20,737	2,263	10.9	60.0
雑収入	196	204	▲8	▲3.9	0.5
外部資金間接経費収入	135	113	22	19.5	0.4
目的積立金等繰入	383	25	358	1,432	1.0
合 計	38,347	36,537	1,810	5.0	100.0

(3) 支出内訳

人件費は、学部等の退職者の減少により 276 百万円の減少、学長戦略経費 27 百万円の増加、診療経費は、入院患者数の増等により 1,889 百万円の増加、借入金償還経費の増加等。

(単位：百万円, %)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	令和4年度支出割合	
人件費	19,012	19,288	▲276	▲1.4	49.6	
内 訳	給与費	18,017	17,990	27	0.2	47.0
	(学部等)	(9,139)	(9,192)	(▲53)	(▲0.6)	(23.8)
	(附属病院)	(8,878)	(8,798)	(80)	(0.9)	(23.2)
	退職手当	995	1,298	▲303	▲23.3	2.6
物件費	18,143	16,232	1,911	11.8	47.3	
内 訳	学長戦略経費	576	549	27	4.9	1.5
	(教育)	(154)	(173)	(▲19)	(▲11.0)	(0.4)
	(研究)	(255)	(176)	(79)	(44.9)	(0.7)
	(地域連携等)	(167)	(200)	(▲33)	(▲16.5)	(0.4)
	教育経費	532	546	▲14	▲2.6	1.4
	研究経費	350	351	▲1	▲0.3	0.9
	教育研究支援経費	791	791	0	0	2.0
	診療経費	14,985	13,096	1,889	14.4	39.1
一般管理費等	909	899	10	1.1	2.4	
借入金償還経費	1,182	1,007	175	17.4	3.1	
予備費	10	10	0	0	0	
合 計	38,347	36,537	1,810	5.0	100.0	

3. 令和4年度の主な事業

令和4年度は、学長のリーダーシップのもと、第4期中期目標・中期計画を実現するための事業を実施し、本学のミッション実現に向けた取り組みを、戦略的かつ効果的に推進する。

(1) 研究の推進（別紙4） 255百万円

- ①創発科学研究拠点（産学共創リサーチ・ファーム）の設置
イノベーションデザイン研究所内に産学共創リサーチ・ファームを整備し、創発科学研究科と連携して、創発科学的研究を実施
- 研究推進事業の実施
 - ・特別推進研究の加速化
 - ・萌芽研究の推進
 - ・科研費の獲得強化
 - ・女性研究者の支援
 - ・研究連携の推進
 - ・研究情報基盤の強化
- ②若手教員の在外研究の実施
- ③特別推進研究の実施
 - ・創発研究（リサーチファーム・プロジェクト）枠
 - ・SDGs推進枠
- 部局プロジェクト研究の実施
 - ・希少糖イノベーションの拠点形成
 - ・レジリエント社会の創造
 - ・デバイス技術による未来開拓
 - ・赤外分光イメージングによる新技術の創出
 - ・ゲノム解析技術の拠点化
 - ・動物実験施設の整備
 - ・包括的健康イノベーションの創出
 - ・アントレプレナーの育成

(2) 教育の充実 119百万円

- DRI教育の推進
- ①数理・データサイエンス・AI教育の強化
全学共通科目に「危機管理学×数理・データサイエンス・AI」科目を加え、応用基礎力教育モデルを展開・普及
(特定分野校・四国ブロック代表校)
- ネクストプログラムの推進
- グローバル人材育成
- ②法務・公務人材育成
法曹養成プログラムと公共人材創出事業の実施
- 学生支援プロジェクト等の推進
- 講義室ICT環境の整備
- 附属学校園の教育環境の整備
- ③D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）の推進

(3) 地域との連携の推進 84百万円

- ⑨「大学・地域共創プラットフォーム香川」の創設
県内の大学等の連携を起点として、行政・産業界等を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会を支える人材の育成・定着、及び、地域課題へ対応するプラットフォームを創設
- リカレント拡充とサテライトオフィス機能強化
- 地域定着を意識した就職支援の推進
- 地域と連携した学生参加型実践教育プログラムの実施
- 香川と都市圏の大学生対流の促進
- 感染症教育センターの運営
- ⑨瀬戸内国際芸術祭2022作品出展事業
- レジリエント社会の創造（再掲）

(4) DX化の推進 191百万円

(令和3年度補正予算繰越)

- ⑨デジタルワンキャンパス推進拠点整備及び業務のDX化内製開発
 - ・「K a d a i DX塾」を開設して、DX人材を育成
 - ・香川県内の大学・教育機関にDX化を波及
 - ・大学業務のDX化を内製開発

4. 学部等に対する教育研究活動の実績状況に基づく運営費の配分

学部等の運営費予算の配分においては、各学部等の教育研究活動の成果を予算に反映させるため、新たに活動実績に基づく運営費配分制度を導入する。

(1) 学部等の運営費配分

- ①評価指標
 - ・卒業・修了者の就職・進学率
 - ・新規採用者に占める若手研究者比率
 - ・常勤教員当たり研究業績の伸び率
 - ・科研費獲得額・獲得件数の伸び率
- ②評価配分率：90%～110%
- ③配 分 額：43百万円

(2) 科研費等の外部資金獲得額に基づく研究費等の追加配分

- ①評価指標
 - ・学部等の外部資金獲得額の伸び率
- ②評価配分率：80%～120%
- ③追加配分額：10百万円
(間接経費の法人本部分)

5. 附属病院事業

附属病院については、診療及び教育研究活動とともに、引き続き新型コロナウイルス感染症対策も考慮したものである。

【収入】

- ・令和3年度の実績を踏まえ、また、診療報酬改定による診療単価の上昇を見込んでいる。
- ・入院においては、病床稼働率の上昇を考慮し、入院患者数の増を見込んでいる。
- ・香川県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（空床補償）については、引き続きコロナの影響が続くことを見込んで計上する。

【支出】

- ・人件費については、病床稼働率の回復に伴う入院患者数の増に対応する人員補充などによる増加を見込んでいる。
- ・診療費については、入院患者数の増加、手術件数の増加に伴う医療材料費等の増加、また、高額医薬品の採用に伴う医療費率の増加を見込んでいる。

さらに、令和4年度において、敷地内薬局の導入に伴う福利厚生施設棟の新営及び看護師宿舎の改修を行うとともに、脳血管・腫瘍診断治療システムの更新や手術用顕微鏡システムなどの医療機器の整備を行う。

【令和4年度の主な設置整備事業】

○敷地内薬局の導入（令和5年2月完成予定）

患者の利便性の向上等に向け、敷地内薬局の導入とともに福利厚生施設を新営する。新営施設において、非常時に災害対策本部として転用可能な高機能スペースを設置する。

○看護師宿舎の改修（令和5年7月完成予定）

老朽化した看護師宿舎の改修を行うとともに、駐車場を増設する。

○脳血管・腫瘍診断治療システム

脳血管内手術などの治療を担う血管撮影装置の老朽化に対応するため、血管撮影装置・超音波装置・造影剤注入装置等を備えた最新のシステムを整備する。

○手術用顕微鏡システム

収入・支出の内訳

(単位：百万円, %)

区 分		令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
収 入	附属病院収入	23,000	20,737	2,263	10.9
	(入院)	(14,767)	(13,546)	(1,221)	(9.0)
	(外来)	(8,233)	(7,191)	(1,042)	(14.5)
	運営費交付金	1,548	1,567	▲19	▲1.2
	補助金等	245	730	▲485	▲66.4
	(空床補償)	(159)	(710)	(▲551)	(▲77.6)
	(その他)	(86)	(20)	(66)	(330.0)
	目的積立金等繰入	394	15	379	2526.7
	計	25,187	23,049	2,138	9.3
支 出	人件費	8,878	8,798	80	0.9
	物件費	15,127	13,244	1,883	14.2
	(診療経費等)	(14,985)	(13,096)	(1,889)	(14.4)
	(一般管理費等)	(142)	(148)	(▲6)	(▲4.1)
	債務償還経費	1,182	1,007	175	17.4
	計	25,187	23,049	2,138	9.3

6. 施設整備計画

施設整備計画は別表のとおりである。

令和4年度施設整備事業

事業名		事業概要	財源内訳
三木町 医学部 団地	看護学科教育研究棟 改修	医学部看護学科教育研究棟において、外壁タイルの浮き部分の剥落防止工事を行い、安全・安心の確保 経年劣化による雨漏れ等リスク低減のため、屋上防水の改修	施設整備費補助金
各団地	施設費交付事業	老朽施設の改修、修繕	施設費交付金
西宝町 団地	保有施設有効活用事業 (旧若草寮取り壊し)	西宝町団地旧若草寮取り壊し4か年計画の第2期事業	運営費交付金
池戸 宿舎 団地	池戸宿舎整備	宿舎の集約化に伴い、居室等の修繕	運営費交付金
幸町 団地	情報メディアセンター (幸町南4・5号館) 改修	老朽化の著しい幸町南4・5号館の老朽改善及び機能改善を実施(老朽改善、ICT環境の強化、DRI教育の推進、防災対応、バリアフリー化、省エネ化 等)	施設整備費補助金
府中 団地	小学部校舎改修	老朽化の著しい小学部校舎の老朽改善及び機能改善を実施(老朽改善、非構造部材の耐震対策、バリアフリー化、省エネ化 等)	施設整備費補助金
幸町 団地	総合教育棟 (幸町北7号館等) 改修	老朽化の著しい幸町北7号館・ML棟(旧音楽棟)を総合教育棟とし、老朽改善及び機能改善を実施(老朽改善、ICT環境の強化、DRI教育の推進、防災対応、バリアフリー化、省エネ化 等)	施設整備費補助金
幸町 団地	ライフライン再生 (排水設備更新) (Ⅰ期)	老朽化の著しい排水設備の更新を行うことにより、BCPを踏まえた防災機能強化及び、安全・安心な教育研究環境の確保	施設整備費補助金
幸町 団地等	ライフライン再生 (排水設備更新) (Ⅱ期)	老朽化の著しい排水設備等の更新を行うことにより、BCPを踏まえた防災機能強化及び、安全・安心な教育研究環境の確保	